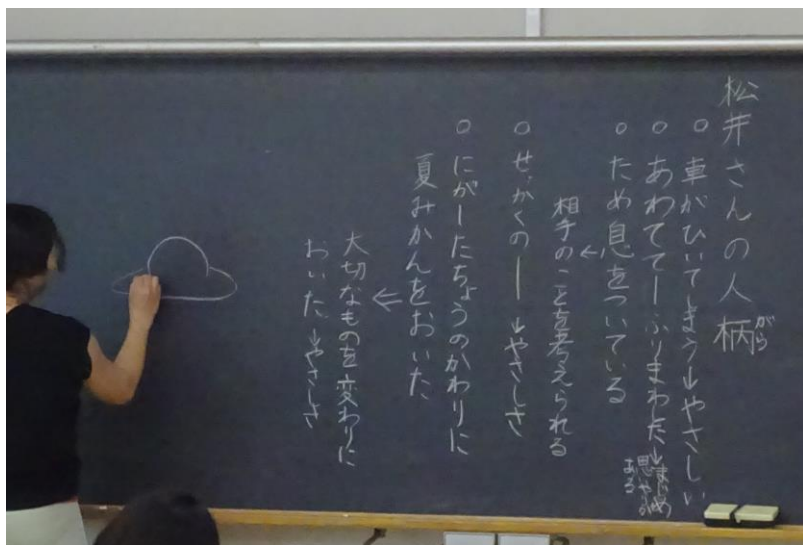



 しろ
 白いぼうし

2026/4/17

No.50

岩渕和信



4年生、国語、あまんきみこ作

『白いぼうし』

運転手の松井さんはどんな人
 なのでしょう。松井さんの人柄が
 わかるところに線を引きました。
 「24 ページの最初のところで、松
 井さんが『風がもうひとふきすれ
 ば、車がひいてしまうわい。』っ
 ていったところに線を引きました

た」

——そこで、どんな人柄だってわかる？

「落ちてるぼうしを見て、はっとして、『車がひいてしまうわい』って思うところが、やさしいと思う」——あ、やさしい人柄である、と。

「私は、そのページの後の方の『あわててぼうしをふり回しました。』っていうところに引きました」——それは、どんな人柄かなあ。

「ちょうちょが出てきたらあせってとろうとしてるから、まじめで、思いやりがある人なんだなあと思う」——あー、すぐになんとかしなきゃってね。

松井さんがどんな人柄なのか。根拠は
 本文にあります。全員の共通の根拠となる
 ことができるのは、本文の「言葉」だけなの
 です。自分の過去の経験や想像は、全員が
 共有できる根拠にはなりません。



同じ作品でいっしょに感動するための技術として、「ことば」を学んでいます。「ことば」
 は一緒に生活するための「技術」、そう「ことば」はHAPPY WORLDへの礎です。

最高の詩人とは世界の「設計者」なのである。(岡村民夫)